

平成25年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	微量化学物質健康影響評価等調査費		担当部局庁	環境保健部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成8年度～		担当課室	環境安全課		牧谷 邦昭		
会計区分	一般会計		政策・施策名	6 化学物質対策の推進 6-1 環境リスクの評価				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	一部の環境化学物質について、アレルギー性喘息等を誘発・増悪させる可能性について専門家から指摘されているものの、不明な点も多く、これらの実態やメカニズム等の調査・研究を進める。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	環境中の微量な化学物質による健康影響について、国内外の文献及び諸外国や諸機関の報告書等の基礎調査を行い、情報の収集、取りまとめを行うとともに、これらを踏まえ、今後の研究の方向性について検証する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		当初予算	21	20	11	41	32	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
	計	21	20	11	41	32		
	執行額	24	8	5				
執行率(%)	114%	40%	45%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)
	当事業は、環境中の微量な化学物質による健康影響についての情報収集及び研究等を実施するものであるため、その成果について、目標を数値化して設定し、評価することは困難。				-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	当事業は、環境中の微量な化学物質による健康影響についての情報収集及び研究等を実施するものであるため、その活動実績を数値化して示すことは困難。				-	-	-	-
				( - )	( - )	( - )	( - )	
単位当たりコスト	-		算出根拠					
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	環境保全調査費	41	32					
	計	41	32					

事業所管部局による点検						
項目			評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	・環境中の微量な化学物質による健康影響については、これまであまり研究が進んでおらず、そのメカニズムについては不明な点も多いが、化学物質過敏症と呼ばれ、何らかの症状を訴える人もあり、国民の関心も高い。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	・入札により費用効率的に調査実施機関を選定。専門家の検討会に環境省職員が出席し、適宜、事業が適正に履行されたことを確認。不要率が大きくなったのは一般競争入札を行った結果、落札額が予算額を下回ったことによるものである。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○				
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	・環境中の微量な化学物質による健康影響について調査するため、症状を訴える患者の基礎データを収集した。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—	—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	環境中の微量な化学物質による健康影響について、行政的対応の必要性について検討を行うため、化学物質過敏症と化学物質との関連についての実態解明を効果的に進める必要がある。					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	支出実績等を勘案し、予算額を節減すべき					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
縮減	試験補助に係る人件費等を見直し、要求額を縮減した。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年	203	平成23年	205	平成24年	214	

環境省  
5.2百万円

〔 企画立案 〕

【総合評価入札】

A.学校法人東海大学  
5.2百万円

〔 環境中の微量な化学物質による健康影響に  
関する調査研究 〕

**資金の流れ**  
(資金の受け取り  
先が何を行っている  
かについて補  
足する)(単位:百  
万円)

A.学校法人東海大学					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
消耗品費	試薬、器具等	2.3			
借料及び損料	施設、機材利用料	1.3			
諸謝金	有識者研究協力謝金	0.4			
一般管理費		0.4			
人件費		0.4			
消費税		0.2			
その他	報告書印刷、有識者研究協力旅費、お茶代、試料送料	0.2			
計		5.2	計		0
			費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	学校法人東海大学	環境中の微量な化学物質による健康影響に関する情報収集	5.2	1	51%